

# Web 3月定例会市議会

- ・勝山市部等設置条例の一部改正
- ・大野・勝山地区広域行政事務組合規約
- ・一般会計ほか10の平成18年度当初予算を可決(2~5ページの予算概要参照)
- ・一般会計ほか9の平成17年度補正予算を可決

## 条制制定等

- ・勝山市立児童センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
- ・勝山市立保育園の設置及び管理に関する条例の一部改正
- ・勝山市保育の実施に関する条例の一部改正
- ・勝山市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正
- ・勝山市福祉健康センター「すこやか」の設置及び管理に関する条例の一部改正
- ・勝山市介護保険条例の一部改正
- ・勝山市工業振興条例の一部改正

## 予 算

### 決まった内容

3月定例会市議会が3月1日から24日までの日程で開催されました。山岸市長は招集あいさつで「市民・行政・議会が緊張感を伴った三位一体となって、新しい時代のまちづくりを実現していきたい」と、新年度の決意を述べました。

議案関連では、平成18年度予算など議案43件を可決しました。

決まったおもな事項は次のとおりです。

#### の一部変更

- ・勝山市国民保護協議会条例の制定
- ・勝山市国民保護対策本部等条例の制定
- ・福井県議会議員選挙に関する事務の受託の廃止
- ・勝山市水防協議会設置条例の一部改正
- ・勝山市官住宅管理条例の一部改正
- ・勝山市税条例の一部改正
- ・勝山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
- ・勝山市立児童センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
- ・勝山市立保育園の設置及び管理に関する条例の一部改正
- ・勝山市保育の実施に関する条例の一部改正
- ・勝山市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正
- ・勝山市福祉健康センター「すこやか」の設置及び管理に関する条例の一部改正
- ・勝山市介護保険条例の一部改正
- ・勝山市工業振興条例の一部改正

## その他

- ・勝山市滞在型コンベンション施設「勝山ニューホテル」の指定管理者の指定について
- ・勝山温泉センター「水芭蕉」及び勝山市ふれあい会館の指定管理者の指定について
- ・北朝鮮への経済制裁発動を求める意見書について

## 勝山市教育委員の異動

佐野瑞平教育委員長の退任(3月31日付)に伴い、前委員長職務代理者の多田誠治氏が委員長に選任されました。

- 委員長 多田 誠治 氏
- 委員 大六 清和 氏

# 市町村 合併についての考え方

勝山市長 山 岸 正 裕

平成18年3月31日で合併特例法による、いわゆる平成の大合併は幕を閉じました。福井県は35市町村から17市町になりました。この中で勝山市はなぜ合併しなかったのか。合併しなくてやっていけないのか。次の合併をどう考えているのか。などについて述べてみたいと思います。

勝山市は、隣接する大野市・和泉村として上志比村と合併研究を重ねるとともに、各地区懇談会や市民対話集会、市議会における議論を深めてきました。その結果、上志比村は吉田郡3町での合併を選択したので、合併特例法のタイムリミットの時点では、勝山市の合併先は大野市・和泉村しか無かったことから、この合併については、「熟度が不足している」という理由で合併を見送ったものです。

今回の平成の大合併では、平成11年3月末で全国に3232あった市町村が平成18年4月1日には1820となりまし。この合併の特徴的なことは大部分が、あわら市、坂井市のように複数の町または村が一緒になって市になった合併か、新福井市のように一つの市が核となり、周辺町村と一緒に新市をつくる合併で、その合計は383市にのぼり、合併全体の95・5%になります。一方、大野市と勝山市の組み合わせ案のように、市と市が一緒になった合併は、わずか18市で、合併全体の4・5%しかありません。さらに勝山市のように今回合併しなかった市は、377市もあり、市の半数以上56・3%が合併を見送りました。

福井県でも勝山市と同じく小浜市、鯖江市が合併を選択しませんでした。市と市の合併は福井市と鯖江市の例のように複数市が、一つになってしまい、どちら

かの市に収束されてしまうということが一番困難な合併と見られており、全国の合併数の少なさにもそれが表れています。

したがって大野市、勝山市の合併案についても、市の名称から始まって市役所の位置、合併後の市のあり方など、多岐にわたることについて、それぞれの十分な話し合いと合意が必要であるにもかかわらず、それを法定合併協議会設立から約1年という限られた短い期間で協議し、合意することは事実上不可能なことであり、これを「熟度不足」と判断し、合併を見送ったものです。

一般論として、単独市のメリットとしては、小回りがきき、行財政改革などに取り組みやすいことがあげられます。現在行っている勝山市の行財政改革において収入役を置かないとしたほか、削減目標を15%としている人件費については、これまで組織機構の見直しや事務改善などを行い、目標の約4割を達成し、単独市としての効果が出ております。また、温泉センター「水芭蕉」と勝山ニューホテルに指定管理者制度を導入したことで経費を半減できる見込みとなりました。

また、合併しなかったことにより、市役所を中心とした町の中心が無くなり、単独市の考えで、中心市街地の整備計画を勝山市民と協働で進めることができます。上下水道事業・集落排水事業についても、勝山市が誇る歴史遺産である平泉寺跡整備にしても、そのほか勝山市がやり残している事業についてすべ、単独の計画と単独の議決によって進めることができます。このことは、勝山市の将来に向かって大変重要なことだと考えています。

国家から分権国家へと、日本の国の仕組みの根幹を問われる制度であり、国の権限や財源を地方へ移す作業が必要になります。国と地方の役割分担などについての徹底的な議論が必要とされています。

勝山市は、あせらず慌てず、単独で内なる力を高めながら、1周遅れで、真に住民のための合併を市民と一っしょに考えていきます。これからも市民の意思を尊重し、議会で議論をいただき、対処していく所存です。

また、今冬の豪雪を振り返っても、大野・和泉・勝山の合計面積約1130平方キロメートル、実に福井県の四分の一を占める広大な面積の中に、それぞれ離れて存在する居住地域に対して合併体の場合、きめ細かく迅速な雪害対策を打てたのだろうか、考えるところだ。

合併が進められて、市の名前が変わっても、この勝山の地が残るためには、勝山市民のアイデンティティ、つまり勝山らしさを誇りに思い、生まれ育った地域を愛する心を持った市民がしっかりと各地域に根を張っていないければならないという信念を私は持っています。その情感を共有する市民がいてこそ、その地域が、持続的に存続し、発展することができると思います。

その心が無いまま、財政事情や行政効率を優先することのみに進められる合併では、人々のまちへの求心力が無くなり、これまで先人が築いてきた勝山はなくなってしまうということを強く危惧いたしました。経済的な基盤、福祉のシステム、教育、まちのインフラなど、まちに必要なこれらすべてを、市民のふるさとに対する熱い思いが無ければ進展していきません。

そこで、私は市長就任以来「ふるさとルネッサンス」を基本理念に「Ecoコミュニティ」によるまちづくりを進め、ふるさとの特性を振り返り、それを魅力に高めてそれぞれの地域の誇りにし、地域を外に発信していく。その結果、自然、歴史、伝統文化、産業などその地域に埋



## 勝山市交通指導員

4月6日、勝山市交通指導員25名の委嘱式が行われました。山岸市長は「交通事故を無くすためにも、みなさんの協力を得たい」と、交通安全意識の向上を目指した協力を求めました。指導員は今後、小学校での交通安全教室や、通学路での交通指導など、地域での指導にあたる予定です。



市長から委嘱を受ける交通指導員

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 伊藤 史朗(保田)    | 田中 啓二(東野)    |
| 加藤 健一(伊波)    | 田中 成子(東野)    |
| 加藤 富治(平泉寺)   | 西浦 憲雄(堀名中清水) |
| 上山 利幸(大渡)    | 長谷川 正(若猪野)   |
| 川島 実(立川町1)   | 林 文隆(芳野町2)   |
| 木戸口 勝男(長山町2) | 林 康昭(本町3)    |
| 木下 一美(浄土寺)   | 平井 喜兵衛(檜曾谷)  |
| 帰山 清孝(郡町1)   | 松山 安江(比島)    |
| 久保 金喜(本町4)   | 安岡 久子(昭和町1)  |
| 小林 太津男(栄町3)  | 山内 則人(薬師神合)  |
| 齋藤 ケサミ(北新在家) | 山内 徳人(保田)    |
| 斎藤 甚三郎(北山)   | 四谷 昌則(旭毛屋)   |
| 嶋田 ます子(暮見)   |              |
- (敬称略・50音順)